

授業科目名	日本とは何か III		
科目番号	1E03011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	春 AB 月 2
担当教員	中込 睦子		
授業概要	「日本とは何か III」では、現代の私たちが自明のものとしている、「日本語」「日本文化」の概念について、近年の研究動向を紹介しつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考える。前半 5 回は「日本語の再検討」につき講義し、後半 5 回は「日本古典文学の再検討」につき講義する。		
備考	(日開設) 日本語・日本文化学類学生の履修を認めない。 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	「日本とは何か III」では、現代の私たちが自明のものとしている「日本語」「日本文化」の概念に、近年の研究動向を踏まえつつ再検討を加えることで、「日本とは何か」を考えていく。		
到達目標	「日本語」や「日本文化」についての近年の研究動向を理解し、自分自身の考えを深めることを目標とする。		
キーワード	日本語・日本文化・品詞論・オノマトペ・文法・主語論争・日本古典文学・カノン		
各回授業計画	<p>1 回目から 5 回目までを竹沢幸一 (文芸・言語専攻)、6 回目から 10 回目までを清登典子 (文芸・言語専攻) が担当する。</p> <p>第 1 回【4 月 18 日 竹沢幸一 人文社会系】 [日本語の再検討 1] 【日本語研究と言語学研究】日本語という個別言語の研究を言語学の学問的コンテキストの中にどう位置づけるかを考える。</p> <hr/> <p>第 2 回【4 月 25 日 竹沢幸一 人文社会系】 [日本語の再検討 2] 【品詞論と分類】「形容動詞」など他言語の記述には見られない日本語に特殊な品詞とは何か。分類という作業自体も含め、品詞分類について言語学的に考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【5 月 9 日 竹沢幸一 人文社会系】 [日本語の再検討 3] 【オノマトペと文法】日本語に豊富に存在するオノマトペ (擬音語・擬態語) と呼ばれる語群を文法的に観察し、日本語の文法体系の中にどのように位置づけられるか考える。</p> <hr/> <p>第 4 回【5 月 16 日 竹沢幸一 人文社会系】 [日本語の再検討 4] 【語順と構造】語順は言語によりかなり異なる。日本語の語順に関わる現象を観察しながら、語順という表面現象の背後にある人間言語の構造的特徴を考える。</p> <hr/> <p>第 5 回【5 月 23 日 竹沢幸一 人文社会系】 [日本語の再検討 5] 【主語論争】日本語には「主語」が存在しないという主張がしばしばなされてきた。その主張が一体何を意味するのか、本当に日本語に「主語」はないのかを言語学的に考える。</p> <hr/> <p>第 6 回【5 月 30 日 清登典子 人文社会系】 [日本古典文学の再検討 1] 近代以降、学ぶべき「古典 (カノン)」として発見された作品とその背景について検討を加える。 (1)</p> <hr/> <p>第 7 回【6 月 6 日 清登典子 人文社会系】 [日本古典文学の再検討 2] 近代以降、学ぶべき「古典 (カノン)」として発見された作品とその背景について検討を加える。 (2)</p> <hr/> <p>第 8 回【6 月 13 日 清登典子 人文社会系】 [日本古典文学の再検討 3] 近代以降、近代的な新たな価値を付与されることで、学ぶべき「古典 (カノン)」とされた作品とその背景につき検討する。</p> <hr/> <p>第 9 回【6 月 20 日 清登典子 人文社会系】 [日本古典文学の再検討 4] 近代以前には、最も重要な古典の一つとして位置づけられていながら、近代以降に切り捨てられた古典作品を取り上げ、その背景について検討する。</p>		

	<p>第 10 回【6 月 27 日 清登典子 人文社会系】 [日本古典文学の再検討 5] 近代以降に切り捨てられた古典ジャンルを取り上げ、その背景について検討する。</p> <hr/> <p>第 11 回【7 月 4 日 竹沢・清登 人文社会系】 期末試験</p>
履修条件	日本語・日本文化学類生の履修を認めない。
成績評価方法	定期試験:課題に関する理解度と論理性・創造性 出席状況:三分の二以上の出席
授業外における学習方法	授業で紹介した文献を積極的に読むこと。
教材・参考文献	授業時に適宜紹介する。
オフィスアワー・連絡先	<p>授業担当教員 竹沢幸一 takezawa.koichi.gn@u.tsukuba.ac.jp 清登典子 kiyoto.noriko.fn@u.tsukuba.ac.jp 世話人教員 中込睦子 nakagomi.mutsuko.ft@u.tsukuba.ac.jp</p>
履修者へのメッセージ	ステレオタイプな思考に陥らないで、独自の見解を展開するように努めてほしい。

授業科目名	社会のなかのデザイン		
科目番号	1E25011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 A 火 1,2
担当教員	貝島 桃代, 加藤 研		
授業概要	デザインに何が出来るのか? 社会との関わりについて、建築デザインの観点から、デザインの可能性を探る。		
備考	(芸術開設) 【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	建築デザインと社会の関わりを理解する。		
到達目標	1. 地域社会や生活環境における建築デザインの役割を知ること 2. 建築デザインの果たすべき役割と責任について理解すること 3. 建築デザインへの興味・関心を発展させること		
キーワード	建築デザイン, 社会, 地域, 環境, 公共空間, 震災復興		
各回授業計画	<p>第 1 回【10/4 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [オリエンテーション・地域における建築デザイン 1] 建築デザインと社会について地域の事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 2 回【10/4 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [地域における建築デザイン 2] 建築デザインと社会について地域の事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 3 回【10/11 加藤 研 芸術系】 [建築と環境 1] 建築プロジェクトの設計プロセスを解説し、建築と環境の関係をめぐる建築家の思考を講述する</p> <hr/> <p>第 4 回【10/11 加藤 研 芸術系】 [建築と環境 2] 建築プロジェクトの設計プロセスを解説し、建築と環境の関係をめぐる建築家の思考を講述する</p> <hr/> <p>第 5 回【10/18 加藤 研 芸術系】 [建築の公共空間 1] 建築がつくる公共空間について、主に近年の事例を参照して講述する</p> <hr/> <p>第 6 回【10/18 加藤 研 芸術系】 [建築の公共空間 2] 建築がつくる公共空間について、主に近年の事例を参照して講述する</p> <hr/> <p>第 7 回【10/25 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [建築デザインと社会 1] 建築デザインと社会について事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 8 回【10/25 貝島 桃代・加藤 研 芸術系】 [建築デザインと社会 2] 建築デザインと社会について事例をもとに概説する</p> <hr/> <p>第 9 回【11/1 貝島 桃代 芸術系】 [震災復興における建築デザイン 1] 東日本大震災で大きな被害を受けた漁村集落の再生支援プロジェクトについて解説する</p> <hr/> <p>第 10 回【11/1 貝島 桃代 芸術系】 [震災復興における建築デザイン 2・テスト] 東日本大震災で大きな被害を受けた漁村集落の再生支援プロジェクトについて解説する</p>		
履修条件			
成績評価方法	定期試験 (100%)・・・課題に対しての展開能力と独創性 出席 (欠格条件)・・・2/3 以上の出席		
授業外における学習方法	授業で取り上げたデザインの対象や問題について、身近な生活環境において確認するなどして、問題意識を深めること。		
教材・参考文献	1. 必要に応じて授業中に紹介する。		
オフィスアワー・連絡先	貝島 桃代 mkaijima at rg7.so-net.ne.jp http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~mkaijima/ 加藤 研 o-kato at geijutsu.tsukuba.ac.jp		

履修者へのメッセージ

遅刻 2 回は欠席 1 回として扱う。授業に集中して、積極的に質問してください。

授業科目名	破壊と再生の歴史・人類学		
科目番号	1E02021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 AB 月 2
担当教員	山澤 学, 伊藤 純郎, 木村 周平, 津田 博司, 山本 真		
授業概要	グローバルな現代文明を生きる私たちは、社会的暴力、あるいは自然災害、地球規模の環境破壊に至るまで、さまざまな形態をとる破壊に直面している。同様の状況は、人類史における過去の変革期にもしばしば出現した。本講義では、かかる変革期に発生した自然災害および戦争に注目し、それらによる破壊の状況と形態、また、破壊後における再生の方法を検証し、現代の私たちに課されている問題を考えていく。		
備考	(比文開設) 西暦偶数年度開講。 【受講制限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E 群		
水準・区分			
教育目的	1. 変革期における社会と人間を考えるための歴史学・人類学的な知識を修得する。 2. 世界各国における社会・文化の独自性と共通性に対する理解を深める。 3. 歴史学・人類学的視野から、現代における諸問題を発見・解決する能力を養う。		
到達目標	1. 変革期における社会と人間について、論理的に記述できる。 2. 世界各国における社会・文化の独自性と共通性を的確に評価することができる。 3. 歴史学・人類学的視野から、現代における諸問題を発見・解決することができる。		
キーワード	破壊, 再生, 変革期, 社会, 人間, 現代, 歴史学, 人類学		
各回授業計画	<p>第 1 回【10 月 3 日 山澤 学 人文社会系】 [破壊と再生研究序説] 変革期の社会と人間を考えるさいに破壊と再生の歴史・人類学が有する現代的意義について講義する。</p> <hr/> <p>第 2 回【10 月 17 日 伊藤 純郎 人文社会系】 [テロリストの原風景 (1)] 「テロ」(破壊) という手段で国家の「再生」を試みた血盟団事件を、テロリストの故郷である常陸三浜という場から問い直す。</p> <hr/> <p>第 3 回【10 月 24 日 伊藤 純郎 人文社会系】 [テロリストの原風景 (2)] 「テロ」(破壊) という手段で国家の「再生」を試みた血盟団事件を、テロリストの故郷である常陸三浜という場から問い直す。</p> <hr/> <p>第 4 回【10 月 31 日 津田 博司 人文社会系】 [戦争の記憶とイギリス帝国 (1)] 旧イギリス帝国圏における世界大戦の記憶について、大戦間期のイギリス本国を事例として考察する。</p> <hr/> <p>第 5 回【11 月 8 日 津田 博司 人文社会系】 [戦争の記憶とイギリス帝国 (2)] 旧イギリス帝国圏における世界大戦の記憶について、現在までのオーストラリアを事例として考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【11 月 14 日 山本 真 人文社会系】 [社会の混乱と人々の生への模索 (1)] 20 世紀前半期中国における軍閥混戦と社会の混乱を描く。</p> <hr/> <p>第 7 回【11 月 21 日 山本 真 人文社会系】 [社会の混乱と人々の生への模索 (2)] 動乱の時代の中国における民衆の生への模索を、結社、移民、革命などから考察する</p> <hr/> <p>第 8 回【12 月 5 日 木村 周平 人文社会系】 [津波とともに生きる人びと (1)] 東日本大震災における被災の経験・記憶の維持継承の問題について講義する。</p> <hr/> <p>第 9 回【12 月 12 日 木村 周平 人文社会系】 [津波とともに生きる人びと (2)] 昭和三陸津波後の復興、とくに高台移転の実施とその帰結、社会的背景について講義する。</p>		

	<p>第10回【12月19日 山澤 学 人文社会系】 [自然災害の記録と社会] 『信州浅間山焼記』(筑波大学附属図書館所蔵)を事例に、江戸時代日本の社会において、自然災害を記録した意味を考察する。</p> <hr/> <p>第11回【12月26日 山澤 学 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	1・2年生は履修できないので、注意すること。
成績評価方法	A: 期末試験 (60%)... 理解, 応用力, 創造性。 B: 授業内提出物 (40%)... 授業への興味・関心, 理解, 考察力。
授業外における学習方法	授業で取り上げられた問題について、テキストや、各講義担当者から紹介された資料・文献を精読すること。
教材・参考文献	以下の文献はテキストとして使用するので、必ず購入すること。 1. 伊藤純郎・山澤学編『破壊と再生の歴史・人類学 変革期の社会と人間』(筑波大学出版会, 2016年秋刊行予定)。 その他の参考文献は各講義担当教員から適宜、紹介する。
オフィスアワー・連絡先	山澤 学 火:15:00~16:30。それ以外にも事前連絡により対応可能。 yamasawa.manabu.fm at u.tsukuba.ac.jp http://www.histanth.tsukuba.ac.jp/member/yamasawa.html
履修者へのメッセージ	単に授業を聞き流すのではなく、受講者自らが問題意識を明確に持ち、独自に考察を深めてもらいたい。

授業科目名	食文化からみる民族と歴史		
科目番号	1E01021	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 C 月 1,2
担当教員	谷口 陽子		
授業概要	私たち人間にとって生の根源である食とそれにまつわる食文化は、民族によって実に多様で、そこには豊かな世界が形成されている。本授業では、「食」をキーワードに、民族とその背後にある文化を掘り下げ、さらにそこから歴史をどう読み取るのか、また、食文化の中に多様性/共通性が生まれた背景は何であるのかに迫っていくことを目的とする。		
備考	(人文開設) 西暦偶数年度開講。 【受け入れ上限 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	「食」という身近な営みから、世界の多様な民族と文化について理解したうえで、食文化の中に多様性/共通性が生まれ変化しつつある背景をいかに歴史のコンテキストで読み取ることができるか。		
到達目標	「異民族」「異文化」「他者」と「私たち」。排他的に文化を捉えるのではなく、いかに多様なものを選択、受容しつつ歴史が動的に変容してきたのか・しているのかを知り、地理的な広がりや時間軸を自在に扱いながら歴史を俯瞰できる。		
キーワード	食, 民族, 文化, 歴史, 地域, 「伝統」, 宗教, 政治, 多様性		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 17 日 (振替授業日) 常木晃 人文社会系】 [食文化と歴史・民族] 歴史、民族の問題を食という視点から考察する。農耕、牧畜の起源と食文化の規範、広がりについて考える。この授業のイントロダクションとする。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 17 日 (振替授業日) 浪川健治 人文社会系】 [列島の北の食と地域文化] 日本列島の北には、もち文化、雑穀文化、鮭文化の文化圏が広がる。それらの文化がどのように列島の諸文化とつながるのかを考える。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 23 日 古家信平 人文社会系】 [奄美・沖縄の食文化 (1)] 地理的にも食文化の内容においても東アジアと強い結びつきをもつ沖縄の食文化について、ブタなどの肉食を中心に地域的特色を述べる。</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 23 日 古家信平 人文社会系】 [奄美・沖縄の食文化 (2)] 奄美・沖縄本島・宮古・八重山の食文化について、地域的特色を生み出した歴史的背景と現代の様相について述べる。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 30 日 中野泰 人文社会系】 [韓半島の食と文化] 韓半島の食文化の概観をしながら、日常の食膳や実際の儀礼を取り上げ、食膳の型や構造を考察する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 30 日 中西僚太郎 人文社会系】 [伝統的な日本の主食物とその地域性] 一般に、日本における伝統的な代表的主食物は米であったと考えられているが、実際に米はどれくらい食べられていたのか。米以外の主食物としてはどのようなものがあつたのかについて、その地域性に着目しながら検討する。</p> <hr/> <p>第 7 回【2 月 6 日 丸山宏 人文社会系】 [現代的視点からみる古代中国の食文化] 古代中国の食材と調理、食器、食事マナー、食に対する思想などを現代的視点から検討し、特徴と意義を考察する。</p> <hr/> <p>第 8 回【2 月 6 日 柴田大輔 人文社会系】 [古代メソポタミアの食と政治] アッシリア帝国における王の食事 (供物) について、帝国の政治力学に着目しながら講義する。</p>		

	<p>第9回【2月13日 山田重郎 人文社会系】 [ユダヤ教の食物規定] ユダヤ教における食物をめぐる禁止事項や諸規定を紹介し、その思想的背景と宗教社会的・歴史 的意味を考える。</p> <hr/> <p>第10回【2月13日 谷口陽子 人文社会系】 [まとめ] 多様な食文化への理解度を問う</p> <hr/> <p>第11回【2月17日(予備日) 谷口陽子 人文社会系】 [期末試験]</p>
履修条件	受け入れ上限【120名】
成績評価方法	A:定期試験(75%)... 講義内容の理解度 B:出席(25%)...2/3以上の出席
授業外における 学習方法	授業で紹介された文献、資料を読み解き、自ら好奇心を持って探求する。
教材・参考文献	授業内で適宜配付、提示する。 1. 常木晃(編)(2010)『食文化 歴史と民族の饗宴(シュンボシオン)』悠書館
オフィスア ワー・連絡先	火:11:30-14:00, 木:15:00-16:00 人文社会学系棟 B104 taniguchi.yoko.fu at u.tsukuba.ac.jp
履修者へのメッ セージ	食というきわめて身近な事象の中に、文化や民族を理解するための重要な手がかりが潜んでいる ことに気づき、食文化に対する認識を新たにして欲しい。

授業科目名	経済学入門 III		
科目番号	1E17011	単位数	1.0 単位
標準履修年次	3・4 年次	時間割	秋 C 火 3,4
担当教員	佐野 幸恵, 秋山 英三		
授業概要	ミクロとマクロをつないできた統計物理学を背景に, 近年発展してきた「社会経済物理」について, その歴史的な流れから最先端の話題まで紹介します。		
備考	【受入上限数 120 名】		
授業形態	講義		
科目群	E		
水準・区分			
教育目的	社会との接点がいよいよ身近になった高年時学生 (物理学・経済学を学んだことがない学類 3・4 年生) が, 社会経済物理の考え方で, 社会経済を新たな視点で見られるようになること		
到達目標	統計物理学の概念を理解し, ビッグデータによって社会経済の分析方法がどう変わったのかを理解する		
キーワード	数理モデル, ビッグデータ, 統計物理		
各回授業計画	<p>第 1 回【1 月 10 日 佐野幸恵 システム情報系】 [社会経済物理とは何か?1] 「社会経済物理」の背景について説明する。</p> <hr/> <p>第 2 回【1 月 10 日 佐野幸恵 システム情報系】 [社会経済物理とは何か?2] ビッグデータによって, 社会経済物理がどう発展してきたかを説明する。</p> <hr/> <p>第 3 回【1 月 24 日 佐野幸恵 システム情報系】 [金融市場の統計性と数理モデル 1] 外国為替取引にみられる統計性について説明する。</p> <hr/> <p>第 4 回【1 月 24 日 佐野幸恵 システム情報系】 [金融市場の統計性と数理モデル 2] 外国為替取引の統計性を再現する数理モデルについて説明する。</p> <hr/> <p>第 5 回【1 月 31 日 佐野幸恵 システム情報系】 [ソーシャルメディアの統計性と数理モデル 1] ブログ, Twitter などソーシャルメディアにみられる統計性について説明する。</p> <hr/> <p>第 6 回【1 月 31 日 佐野幸恵 システム情報系】 [ソーシャルメディアの統計性と数理モデル 2] ソーシャルメディアの統計性を再現する数理モデルについて説明する。</p> <hr/> <p>第 7 回【2 月 7 日 佐野幸恵 システム情報系】 [企業間取引の統計性と数理モデル 1] 企業財務諸表, 取引データにみられる統計性について説明する。</p> <hr/> <p>第 8 回【2 月 7 日 佐野幸恵 システム情報系】 [企業間取引の統計性と数理モデル 2] 企業データの統計性を再現する数理モデルについて説明する。</p> <hr/> <p>第 9 回【2 月 14 日 佐野幸恵 システム情報系】 [まとめ] 社会経済物理に関連して, 「計算社会科学」について紹介する。</p> <hr/> <p>第 10 回【2 月 14 日 佐野幸恵 システム情報系】 [まとめ] 授業内容のまとめを行う。</p>		
履修条件	3・4 年生		
成績評価方法	宿題 (40%)、期末試験 (60%)		
授業外における学習方法	なし		
教材・参考文献	教科書は指定しない		
オフィスアワー・連絡先	オフィスアワーは授業第 1 回目に連絡する 佐野 幸恵 sano at sk.tsukuba.ac.jp infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~sano/		
履修者へのメッセージ	社会経済物理を知り, 世の中のを新たな視点から見てみよう。		